

# 経済統計：第2回中間試験

村澤 康友

2018 年 6 月 4 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいと与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
  - (a) ベルヌーイ分布
  - (b) 周辺確率密度関数
  - (c) 条件つき確率質量関数
  - (d) 漸近分布
2. (30 点) 某大学の「統計入門」の試験は五択問題であり、25 問中 10 問以上の正答で合格となる。A 君は一度も授業に出席しておらず、問題文すら理解できないが、無作為に選択肢を選び、あわよくば合格しようと考えている。A 君の正答数を  $X$  とする。
  - (a)  $X$  の確率質量関数を式で書きなさい。
  - (b)  $X$  の平均と分散を求めなさい（ヒント：25 回の独立なベルヌーイ試行と考える）。
  - (c)  $\Pr[X \geq 10]$  の厳密な計算は面倒だが、正規分布で近似して求めることができる。標準正規分布表を利用して A 君が合格する確率を近似的に求めなさい。
3. (50 点)  $(X, Y)$  は次の同時累積分布関数をもつ。

$$F_{X,Y}(x,y) = \begin{cases} \sqrt{xy} & \text{for } 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases}$$

- (a)  $(X, Y)$  の同時確率密度関数を求めなさい。
- (b)  $X$  と  $Y$  の周辺確率密度関数を求めなさい。
- (c)  $X$  と  $Y$  の平均を求めなさい。
- (d)  $X$  と  $Y$  の分散を求めなさい。
- (e)  $X$  と  $Y$  の共分散を求めなさい。

## 解答例

### 1. 確率・統計の基本用語

(a) ベルヌーイ試行における成功を 1, 失敗を 0 とした確率変数の分布.

- 結果が 0 と 1 でなければ 2 点.

(b)  $f_X(x) := \int_{-\infty}^{\infty} f_{X,Y}(x,y) dy$ .

(c)  $p_{X|Y}(x|Y=y) := p_{X,Y}(x,y)/p_Y(y)$ .

(d)  $n$  が大きいときの  $X_n$  の近似分布.

### 2. 2 項分布と正規分布

(a)  $X$  の確率質量関数は

$$p_X(x) = \begin{cases} {}_{25}C_x (.2)^x (1-.2)^{25-x} & \text{for } x = 0, 1, \dots, 25 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases}$$

(b) 第  $i$  問の正解／不正解を次の確率変数で表す.

$$X_i = \begin{cases} 1 & \text{正解} \\ 0 & \text{不正解} \end{cases}$$

$X_i \sim \text{Bin}(1, .2)$  より

$$\begin{aligned} E(X_i) &= .2 \\ \text{var}(X_i) &= .2(1-.2) \\ &= .16 \end{aligned}$$

$X = X_1 + \dots + X_{25}$  より

$$\begin{aligned} E(X) &= E(X_1 + \dots + X_{25}) \\ &= E(X_1) + \dots + E(X_{25}) \\ &= 5 \end{aligned}$$

また  $X_1, \dots, X_{25}$  は独立なので

$$\begin{aligned} \text{var}(X) &= \text{var}(X_1 + \dots + X_{25}) \\ &= \text{var}(X_1) + \dots + \text{var}(X_{25}) \\ &= 4 \end{aligned}$$

- 平均で 5 点, 分散で 5 点.

(c)  $X \overset{a}{\sim} N(5, 4)$  とすると

$$\begin{aligned} \Pr[X \geq 10] &= \Pr\left[\frac{X-5}{2} \geq \frac{10-5}{2}\right] \\ &\approx \Pr[Z \geq 2.5] \end{aligned}$$

ただし  $Z \sim N(0, 1)$ . 標準正規分布表より  $\Pr[Z \geq 2.5] \approx .0062097$ .

- 前問の解答と整合的なら OK.
- 標準化で 5 点.

### 3. 2 変量分布

(a)  $(X, Y)$  の同時確率密度関数は

$$\begin{aligned} f_{X,Y}(x, y) &= \frac{\partial^2 F_{X,Y}}{\partial x \partial y}(x, y) \\ &= \begin{cases} x^{-1/2} y^{-1/2} / 4 & \text{for } 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq 1 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases} \end{aligned}$$

(b)  $X$  の周辺確率密度関数は、任意の  $x \in [0, 1]$  について

$$\begin{aligned} f_X(x) &:= \int_{-\infty}^{\infty} f_{X,Y}(x, y) \, dy \\ &= \int_0^1 \frac{x^{-1/2} y^{-1/2}}{4} \, dy \\ &= \frac{x^{-1/2}}{4} \int_0^1 y^{-1/2} \, dy \\ &= \frac{x^{-1/2}}{4} \left[ 2y^{1/2} \right]_0^1 \\ &= \frac{x^{-1/2}}{2} \end{aligned}$$

したがって

$$f_X(x) = \begin{cases} x^{-1/2}/2 & \text{for } 0 \leq x \leq 1 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases}$$

同様に  $Y$  の周辺密度関数は

$$f_Y(y) = \begin{cases} y^{-1/2}/2 & \text{for } 0 \leq y \leq 1 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases}$$

- 前問の解答と整合的なら OK.

(c)  $X$  の平均は

$$\begin{aligned} E(X) &= \int_0^1 x \frac{x^{-1/2}}{2} \, dx \\ &= \frac{1}{2} \int_0^1 x^{1/2} \, dx \\ &= \frac{1}{2} \left[ \frac{2}{3} x^{3/2} \right]_0^1 \\ &= \frac{1}{3} \end{aligned}$$

$Y$  の平均も同じ.

- 前問の解答と整合的なら OK.

(d)  $X$  の 2 次の積率は

$$\begin{aligned} E(X^2) &= \int_0^1 x^2 \frac{x^{-1/2}}{2} dx \\ &= \frac{1}{2} \int_0^1 x^{3/2} dx \\ &= \frac{1}{2} \left[ \frac{2}{5} x^{5/2} \right]_0^1 \\ &= \frac{1}{5} \end{aligned}$$

$X$  の分散は

$$\begin{aligned} \text{var}(X) &= E(X^2) - E(X)^2 \\ &= \frac{1}{5} - \left(\frac{1}{3}\right)^2 \\ &= \frac{1}{5} - \frac{1}{9} \\ &= \frac{4}{45} \end{aligned}$$

$Y$  の分散も同じ.

(e)  $X$  と  $Y$  は独立なので共分散は 0.